

# 飛島活力再生推進事業

## 自治体情報 山形県酒田市

人口 / 110,794人 標準財政規模 / 30,622百万円

**担当課** 総務部 政策推進課  
**電話番号** 直通 0234-26-5704  
**実施主体** 酒田市  
**関連ホームページ** <http://tobishima.info/>

**事業期間** 平成24年度から  
**関係施策分類** ①、②、④

## 予算関連データ

総事業費：9,441千円

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	9,441

## 施策のポイント

島民・行政・大学・NPO等により協議会組織「とびしま未来協議会」を設立し、島づくりについて協議。また、島内外の交流拠点として「しまCafé」を運営し、今年度から導入した緑のふるさと協力隊（地域おこし協力隊兼務）からも協力いただいている。

## 施策の概要

### 1. 取組に至る背景・目的

本市の有する離島「飛島」においては、人口減少と少子高齢化が深刻となり、地域コミュニティの存続自体が危ぶまれる状況となっている。このため、島外の人材を受け入れて、産業の振興や日常生活支援などのお手伝いをしていただくとともに、島民とは違った目線で意見をいただきながら、島民自らが地域の振興策について考えていく環境を整えたかった。

### 2. 取組の具体的内容

とびしま未来協議会が開設した「しまCafé」を、島民と島民、島民と観光客との交流拠点と位置付け、島づくりについて気軽に意見交換出来る場として運営している。また、今後策定される「山形県離島振興計画」に盛り込んでいくべき内容を話し合うため、とびしま未来協議会で複数回の座談会を開催している。

さらに、特定非営利活動法人 地球緑化センターが派遣する、緑のふるさと協力隊を受入れ、漁業や観光業などのお手伝いや、日常生活のお手伝いなどをしていただきながら、外から目線で島づくり活動に協力いただいている。

### 3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

Uターン者・Iターン者の受入れ（目標 移住者1名）や、ボランティアとして飛島を訪れる者の増加（目標 渡航者500名）。

### 4. 現在までの実績・成果

Uターン者1名、Iターン者3名（上記協力隊1名を含む）が飛島に移住したほか、約400名のボランティアから様々なボランティア活動を行っていただいた。

また、しまCaféが観光スポットとしても大変好評で、多くの観光客から利用していただいた。

### 5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

当初、島民の多くが島外の人材を受入れることに対して否定的だったが、現状を確認し合い、産業振興面だけではなく、日常生活、更には有事の際の避難時などにおいても、外部人材導入が必要であることを理解いただいた。また、緑のふるさと協力隊が、お隣の栗島で活躍していることも、外部人材導入に至る一助となった。

### 6. 今後の課題と展開

高齢化率6割の飛島では、地域コミュニティの存続のためには、島外からの移住者受入れが必要となる。そのためにも、既存の漁業、観光業以外に、Iターン者が就労する場となり得る産業を創出する必要がある。

また、しまCafé利用者の8割が観光客等なので、もっと島民が利用しやすい環境をつくり、交流を促進する必要がある。